

# 平成25年度 笠松力検定 中級 問題用紙 制限時間60分

## 注意事項

- (ア) 検定問題は全50問で、1問から25問が4者択一方式、26問から50問が記述式です。解答用紙の記入にあたっては、1問から25問は番号を、26問から50問は問題で指示した語句を記入してください。
- (イ) 誤って記入した場合は、消しゴムで跡が残らないように消してください。
- (ウ) 受検中は、監督者の指示が出るまで検定会場を退出しないでください。
- (エ) 受検中は、携帯電話等を使用することはできません。
- (オ) 受検中は、問題の内容についての質問は一切受け付けません。

## 笠松力検定委員会

問題 1 から 2 5 までを読み、正しいと思われるものを一つ選び、  
解答用紙に番号を記入してください。

1. 笠松町の平成 25 年 1 月 1 日現在の世帯数は、約何世帯ですか。
  - ① 7, 3 0 0 世帯
  - ② 8, 3 0 0 世帯
  - ③ 9, 3 0 0 世帯
  - ④ 1 0, 3 0 0 世帯
  
2. 笠松町は岐阜県の南部に位置し、愛知県に接する細長い町です。その面積は、何平方キロメートルですか。
  - ① 6. 3 6 平方キロメートル
  - ② 8. 3 6 平方キロメートル
  - ③ 1 0. 3 6 平方キロメートル
  - ④ 1 2. 3 6 平方キロメートル
  
3. 笠松町は、木曾川に接している町です。町内で木曾川に接していない地域はどこですか。
  - ① 中川町
  - ② 円城寺
  - ③ 田代
  - ④ 江川
  
4. 明治 22 年(1889)に町制施行した笠松町は、その後、下羽栗村、松枝村と柳津村の一部と合併して今日に至っていますが、この 3 つの村との合併順を示したものの内、正しいのはどれですか。
  - ① 下羽栗村 → 松枝村 → 柳津村の一部
  - ② 松枝村 → 下羽栗村 → 柳津村の一部
  - ③ 柳津村の一部 → 下羽栗村 → 松枝村
  - ④ 柳津村の一部 → 松枝村 → 下羽栗村
  
5. かくれキリシタンが拝んでいたマリア像が刻まれている「キリシタン灯籠」が残されていますが、どこにありますか。
  - ① 八幡神社
  - ② 笠松町役場
  - ③ 笠松小学校
  - ④ 笠松みなと公園

6. 笠松町内にあり「笠工（かさこう）」と呼ばれ親しまれている岐阜県立岐阜工業高等学校の前身である岐阜県第一工業学校は、いつ開校しましたか。
- ① 明治35年(1902)
  - ② 大正15年(1926)
  - ③ 昭和5年(1930)
  - ④ 昭和19年(1944)
7. 門間の神明神社には、神の宿る木といわれる町の天然記念物があります。この木は何ですか。
- ① クス
  - ② マツ
  - ③ イチョウ
  - ④ クロガネモチ
8. 日本で確認されている隕石<sup>いんせき</sup>は50個ほどですが、そのひとつは、笠松町に昭和13年(1938)に落ちた「笠松隕石<sup>いんせき</sup>」です。その隕石<sup>いんせき</sup>はどこに落ちたものですか。
- ① 民家
  - ② 競馬場
  - ③ 役場
  - ④ 寺
9. 今も踊り継がれている「円城寺の芭蕉踊」は、岐阜県重要無形民俗文化財に指定されています。この踊りは、何を祈願していますか。
- ① 五穀豊穰
  - ② 無病息災
  - ③ 雨乞い
  - ④ 家内安全
10. 慶安3年(1650)、当時「笠町」と呼ばれていたこの地に、休憩所となる「仮の陣屋（臨時の役所）」を構えたのは誰ですか。
- ① 大久保長安
  - ② 岡田将監善同
  - ③ 岡田将監善政
  - ④ 名取半左衛門長知

11. 江戸時代、問屋場を営んでいた下新町の高島家は、明治時代に公の仕事をしていました。その公の仕事とは何ですか。
- ① 警察署
  - ② 消防署
  - ③ 裁判所
  - ④ 郵便局
12. 鎌倉時代になると京都と鎌倉を往来する人が増えました。南宿と北宿（現在の羽島市）の間を通り、及川にかけられた及橋を渡り、北及を経て黒田（現在の一宮市）に抜けた道を、何と呼んでいますか。
- ① 伊勢道
  - ② 美濃路
  - ③ 鎌倉街道
  - ④ 御鮎街道
13. 無動寺に土岐塚があります。土岐塚は天文13年(1544)、織田信長の父信秀が美濃に攻め込んだ「無動寺の戦い」で、斎藤道三の策略によって殺害された武将の墓です。この武将は誰ですか。
- ① 土岐頼香
  - ② 土岐頼芸
  - ③ 土岐頼次
  - ④ 土岐頼益
14. 木曾川橋の下流、藤掛の川岸にあった「四季の里」は、昭和27年(1952)から、ある機関の研修施設等に使用されました。その機関はどれですか。
- ① 宮内庁
  - ② 岐阜県
  - ③ 羽島郡教育委員会
  - ④ 笠松町
15. 笠松町から木曾川に架かる橋のうち、一番下流に架かる橋はどれですか。
- ① 愛岐大橋
  - ② 木曾川橋
  - ③ 尾濃大橋
  - ④ 濃尾大橋

16. 笠松町が運営している公共施設巡回町民バスは、「米野高瀬」と「下門間」を平日は毎時20分に発車します。平日の始発便は午前何時20分発ですか。
- ① 6時
  - ② 7時
  - ③ 8時
  - ④ 9時
17. 笠松の名産品として知られた「美濃縞」の製造業者の組織は、明治14年(1881)に設立され、現在の名称は「美濃織物工業協同組合」です。設立された当時の名称はどれですか。
- ① 岐阜県美濃縞組合
  - ② 美濃織物同業組合
  - ③ 美濃縞会社
  - ④ 岐阜県美濃綿織物工業組合
18. 平成25年(2013)、笠松町は内閣総理大臣から総合特別区域法の「国際戦略総合特別区域(特区)」に指定されました。その特区の名称はどれですか。
- ① つくば国際戦略総合特区
  - ② アジアヘッドクォーター特区
  - ③ グリーンアジア国際戦略総合特区
  - ④ アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区
19. 濃尾地震が発生した時は、朝食を準備する時間帯でした。その結果、いたるところで火災が発生し、家屋の倒壊と火災により大災害となりました。当時の笠松町は、戸数1,005戸、人口4,732人でしたが、どれほどの被害が出たのでしょうか。
- ① 全壊家屋593戸 焼失家屋387戸
  - ② 全壊家屋406戸 焼失家屋501戸
  - ③ 全壊家屋341戸 焼失家屋178戸
  - ④ 全壊家屋160戸 焼失家屋600戸
20. 全国から笠松町への「ふるさと納税」に多くの寄附が集まっています。その名称はどれですか。
- ① がんばれ笠松寄附金
  - ② かさまつ応援寄附金
  - ③ ふるさと笠松寄附金
  - ④ かさまつ振興寄附金

21. 平成 25 年度の笠松町一般会計の当初予算額は、おおよそ何億円ですか。
- ① 約 2 5 億円
  - ② 約 4 5 億円
  - ③ 約 6 5 億円
  - ④ 約 8 5 億円
22. 昭和 18 年(1943)に「岐阜県第一工業学校」に併設された「岐阜県立高等工業学校」は、その後、現在の何に発展しましたか。
- ① 岐阜工業高等専門学校
  - ② 岐阜大学工学部
  - ③ 岐阜医工科大学
  - ④ 岐阜工業専門学校
23. 平成 25 年度に笠松競馬場で開催されている重賞競走で、以前は「全日本サラブレッドカップ」と呼ばれていた 1 着賞金が 1,000 万円のレースは何ですか。
- ① オグリキャップ記念
  - ② くろゆり賞
  - ③ 笠松グランプリ
  - ④ 東海ゴールドカップ
24. 芦毛の怪物と呼ばれ、全国の多くの競馬ファンから愛された「オグリキャップ」は、昭和 62 年(1987)に笠松競馬場でデビューしました。笠松競馬場で出走した 12 回のうち、1 着となったのは何回でしたか。
- ① 9 回
  - ② 1 0 回
  - ③ 1 1 回
  - ④ 1 2 回
25. 木曾の清流にはぐくまれ、木曾の奔流に耐えて、力強く生きぬいた誇り高いわたしたち笠松町民は、豊かな明るい生活をめざして、笠松町民憲章を制定しました。制定されたのは昭和何年ですか。
- ① 4 0 年
  - ② 4 4 年
  - ③ 5 0 年
  - ④ 5 4 年

問題 26 から 50 までを読み、各設問の指示に従い解答用紙に正しいと思われる解答を記入してください。

26. 次の文章を読み、に入る国名を書きなさい。

平成 25 年(2013)3 月 31 日現在、笠松町に住む外国人の中で、最も多い出身国はです。

27. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松の歴史は水との闘いと無縁ではありませんでした。そのため「川」や「池」という字がつく地名(町内名)が多くあり、「池」がつく町内名には、大池町、西金池町、東金池町と、松枝地域のがあります。

28. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

トンボ池は、木曾川のかつての本流が取り残されてできた池です。このように形成された池はと呼ばれています。

29. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

明治 30 年(1897)に郡と中島郡をあわせた 2 町 18 村の「羽島郡」が設置されました。郡役所は笠松町に置かれました。

30. 次の文章を読み、に入る数字を書きなさい。

町指定文化財(工芸品)に指定されている産霊神社のご神刀は 1 振りですが、八幡神社のご神刀は振りあります。

31. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

門間の慈眼寺には、1本のヒノキを真ん中から割って造られた町指定文化財の不動明王像と毘沙門天像がありますが、この2体の作者はです。

32. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

岐阜県重要無形民俗文化財の『笠松の奴行列』は、「笠松行列お奴保存会」が中心となり、小中学生も参加して伝承に努めています。

33. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

明治初期、笠松村を含む美濃国の一部が「笠松」と呼ばれていた期間がありました。その期間は約4年間です。

34. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松で関ヶ原の戦いの前哨戦の「の戦い」がありました。この戦いは、木曾川を渡って押し寄せる東軍の軍勢と、それを迎え撃つ西軍の岐阜城主織田秀信の戦いでした。

35. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

湊は、木曾川流域最大の物資の集散地として栄えた川湊です。その面影をしのぶ史跡に「石畳」があります。この「石畳」は、荷揚げや積込みする米・調味料・陶製品・石・薪炭・紙などの物資を、大八車で運搬する際に使われました。

36. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

江戸時代、歴代の尾張藩主は所領地の岐阜町を訪れる際、木曾川を渡り円城寺の野々垣家に立ち寄り、「の坂」の西側を通って行きました。その通った道を「お成り道」と呼んでいました。

37. 次の文章を読み、に共通する語句を漢字で書きなさい。

江戸時代、長良川でとったにご飯を詰め込み、<sup>な</sup>熟れ鮓にして江戸の将軍に献上しました。笠松ではこの通り道を「鮓街道」と呼んでいます。

38. 次の文章を読み、に入る苗字（氏）を漢字で書きなさい。

江戸時代後期の笠松は、政治・経済・交通の要衝だけでなく、文化・芸術の中心地として発展し、儒学・教育者の角田錦江、山水画の山田訥齋が有名です。「冠峰」は、儒学者で漢詩文の研究に優れ、漢方医として医療に努めました。漢詩の石碑は笠松中央公民館の南庭にあります。

39. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

中野のお堂に祀られている6体の地藏様は、台座の記録から明治初期の廃仏毀釈で木曾川上流の越原村（現在の東白川村）から流されたものとわかっています。地元の人々は「川原から地藏様」と呼んでいます。

40. 次の文章を読み、に入る苗字（氏）を漢字で書きなさい。

今の田代には、14世紀頃から蓮台城があったといわれています。城主の可行（泰可）の子は可成で、その可成の子には、織田信長の小姓の蘭丸もいます。

41. 次の下線の漢字の読み仮名をひらがなで書きなさい。

昭和32年、長池の土地改良工事中に、寺院の半壊状態の塔心礎や多くの瓦などが出土しました。この寺院は「東流廃寺（蓮台寺）」と呼ばれ、塔心礎の形状や大きさから、塔の高さは30メートル程あったと推測されます。発見された塔心礎は田代の白鬚神社に移されました。

42. 次の文章を読み、に共通する語句をひらがなで書きなさい。

「どこいきやるナ～」と唄われる民謡は、笠松が「発祥の地」といわれています。この民謡は、宴会や結婚式などでも唄われる祝い歌です。

43. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

この写真は、奈良津堤の魂生大明神の近くにある「塚」です。



44. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

「ハァ～の笠松チョイト絵になる姿」の歌詞で始まる『新笠松音頭』は、笠松春まつりの本まつりパレードや小学校の運動会でも踊られています。

45. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

かさまつまちづくりイベント実行委員会が主催し、笠松みなど公園で開催される2つの大きなイベントは、8月15日の「笠松川まつり」と、秋の「カーニバル」です。

46. 次の文章を読み、に入る語句を数字で書きなさい。

昭和年に、木曾川鉄橋が完成し、新一宮駅（現在の名鉄一宮駅）と新笠松駅（現在の笠松駅）を結ぶ鉄道が開通すると、岐阜と名古屋を鉄道で行き来できるようになり、社名は「名古屋鉄道株式会社」となりました。

47. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

昭和34年(1959)9月の台風15号は東海地方に大きな被害を与えました。笠松町では、境川などが増水し、床上浸水533世帯、床下浸水361世帯の被害を受けました。この台風15号は「台風」と呼ばれています。

48. 次の文章を読み、に入るカタカナで書きなさい。

笠松町の道路に設置されている下水道のマンホール蓋には、公募により決定したがデザインされています。

49. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

平成19年(2007)に、全国的にも珍しい「笠松町のまちづくり条例」を制定し、心を大切にするまちづくりに取り組んでいます。

50. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

昭和40年(1965)に制定された笠松町の町章は、の文字と松葉模様で町名を斬新にえがき、円は親和協調を、円内の鋭角は町の躍進と栄光の道を力強く表現したものです。